

2009 年度『ブロック共同宣教司牧推進の歩み』の報告書

「ブロック・小教区での部会制の現状と課題について」

ブロック名: 北 ブロック

提出期限2010年2月28日 提出日 2010 年 3 月 1 日

2009年度の「ブロック共同宣教司牧の歩み」の報告書は、昨年に引き続き、「部会制」について、報告してください。「部会制」について、①2009年の各教会の部会の実態、②ブロックが抱える部会制の課題、③部会制が定着するため工夫。④「ブロックの部会」(たとえば、ブロックの典礼部会など)あれば、その活動についても触れてください。

① 2009年の各教会の部会の実態

- ・ 小山教会では、小教区規約にもとづき、部会制を編成しています。
- ・ 専門部の評議員が各部会のまとめ役および責任者となっています
- ・ しかし、信徒が少ないため、ほとんどの人が複数の部に入って活動していますので、各信徒は、自分がどの部会に所属している感覚はありません。
- ・ 専門部の活動内容や推進状況は、評議会で評議員が報告し、必要により協議して決定しています。

② ブロックが抱える部会制の課題

- ・ 小教区の代表がブロックの部会の編成し活動していますが、小教区によって格差があります。
 - ・ 部会の活動について、その格差を解消するため、大規模の小教区から小規模の小教区への援助が必要です。
- (小山教会では、他教区の方々から援助してもらっていますので感謝しています。)

③ 部会制が定着するため工夫

- ・ 部会の会議に出席しやすいように、場所や時間帯を考慮する
- ・ 部会が活発化するためにメンバーの定着が必要です。

④ 「ブロックの部会」

- ・ ブロックでの部会活動は、小教区を超えた信徒間の親密度が増し、横のつながりができるといふ素晴らしいものがありますが、会議が多く負担になる部分があります。

2009 年度『ブロック共同宣教司牧推進の歩み』の報告書

「ブロック・小教区での部会制の現状と課題について」

ブロック名: 京都南部地区 北 ブロック

記入者 西院教会 各部会代表(西院教会)

提出期限2010年2月28日 提出日 2010年 2月 28日

2009年度の「ブロック共同宣教司牧の歩み」の報告書は、昨年に引き続き、「部会制」について、報告してください。「部会制」について、①2009年の各教会の部会の実態、②ブロックが抱える部会制の課題、③部会制が定着するため工夫。④「ブロックの部会」(たとえば、ブロックの典礼部会など)あれば、その活動についても触れてください。

① 2009年の各教会の部会の実態

典礼部	部員数に対して例会の出席者が少ない。部員それぞれが奉仕に参加している。
教育部	部員数が少ないことが問題となっている。青年層の参加をもとめます。
施設管理部	西院教会施設管理は信徒会館貸出し業務などで日々多くの奉仕活動が必要となっている今日、コーラスが三組、グループ二組の貸出しを行っているため、カギの開閉に始まり、来訪者の受付や宿泊者の管理等、社会とのつながりは自ずと行われ、日々喜びを持って奉仕に専念している。
広報部	・小教区誌、「Saiin」の年3回の発行 ・月一回の例会(評議会の報告・検討話合いや、召命等についての分かち合い他充実) ・カトリック新聞の配布。 ・カレンダー手帳の集約、販売。 ・掲示板の運用 多彩な活動をしています。
財務部	・部会制になってからの期間が長いので定着してきていると思う。 ・評議会などで各部ごとの意見が色々聞くことができる。
社会活動部	①実動人員が少なく、特に若い方の入部を期待している。 ②活動内容 (1)情報収集 (2)情報に基づいて募金、送金 (3)この 2 年間はボーイスカウトと同日にミニバザーをし、収益を釜崎、「いのちのネットワーク」、「インドへの友愛の手を」などに送金 (4)希望の家、のぞみのボランティア応援 (5)防災パンの紹介 (6)夜回りの会へタオル、石鹸等のプレゼント

② ブロックが抱える部会制の課題

典礼部	北ブロックの他の小教区では信徒が少なく部会制が成り立たない所もあるが当教会では何とかクリアしているのではないかな？
教育部	各教会の部会が共通理解を深めるために例会を持つことが大切。教育部においては夏期学校の準備、実施やミサを行うことで相互の理解が深まっていると思う。
施設管理部	———
広報部	———
財務部	・ 部に入っている人達には、比較的詳しく情報が伝えられるが入っていない人にはどの様に伝えるのか課題。 ・ 部という縦のつながりはできるが、横のつながり(以前のマリア会の様な)つながりは希薄になってきている。 ・ 各部に所属している人数によって活動する範囲が変わってくる。多い所は活発に活動しやすいが少ない所は活動範囲が制約されやすいと思う。
社会活動部	———

③ 部会制が定着するため工夫

典礼部	典礼部では各自、奉仕活動に参加し、勉強もしていると思う。
教育部	——
施設管理部	数年前、年頭書簡に「沖へ漕ぎ出せ」と有りましたが、その時、施設管理は港をしっかり守り管理して行かねばと比較的、高齢者は体力的にも無理な人も奉仕と思い、受付や訪問者との交わりなど縁の下の力もち的な目立ないけど小さな奉仕活動に喜びを感じている。
広報部	・毎月一回の例会をすること。 ・例会では、単なる会議でなく、分かち合い等を交えていろいろ関りを持って話しをすること。 ・小教区誌、「Saiin」と北ブロック広報誌の発行等を行うことで、皆で一緒に作り上げる喜びを分かち合うこと。
財務部	——
社会活動部	——

④ 「ブロックの部会」

典礼部	部長がブロック典礼部会に出席し、部員に伝えている。
教育部	——
施設管理部	
広報部	北ブロック広報委員会：北ブロック広報誌の発行を年三回 ・編集会議：発行後とその次の号の発行前に集まり。 編集にあたり、紙面をなるべく丁寧に、各教会からの意見を取り入れたものを考慮。 ・主に広報誌に関する段取りや、原稿のやり取り等を E-MAIL 等で常にしており、各教会の担当員全員が情報を共有化。 ・他ブロック内の教会（京都教区南部）にも郵送。
財務部	——
社会活動部	——